

わたしの おぎくぼ

発行：荻窪地域区民センター協議会 〒167-0051 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9127 FAX 3398-9128
ホームページ http://ogikubokyougikai.sakura.ne.jp/
荻窪地域区民センター 杉並区荻窪2-34-20 ☎3398-9125 【休館日】第2・4月曜日と20日・12/28～1/4
本天沼区民集会所 杉並区本天沼2-12-10 ☎5310-4633 【休館日】第1・3月曜日・12/28～1/4

本天沼集会所まつり

雨天決行 日時：10月20日(日)午前10時～午後4時

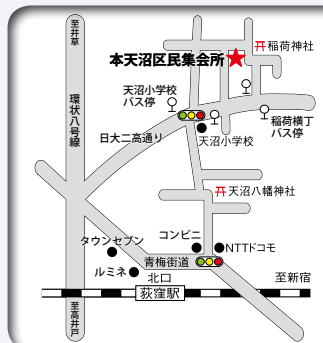


～楽しい、体験型催しいろいろ～

- ◆参加体験 缶バッジ、押し花、折り紙、似顔絵、防災クイズ、綿あめ、ポップコーン、バルーンアート
- ◆模擬店 ソフトドリンク、コロケ、団子 他

- ◆物販など 杉並野菜直販、花の販売、包丁とぎ
- ◆苗木配布 (限定150本)
- ◆抽選会 (限定300名)
- ◆催しもの (午前10～11時)
天沼小学校 吹奏楽アンサンブル
FUNK-A-HIP ヒップホップダンス

会場：本天沼区民集会所
徒歩：荻窪駅北口から15分
バス：荻窪駅北口③乗場から乗車「稻荷横丁」下車、徒歩3分



荻窪音楽祭 地域ふれあいマチネコンサート

日時：11月9日(土)午後1時～4時(0時30分開場)
会場：荻窪地域区民センター 入場無料：定員80席(B2体育室)

音楽の旅 ～お子様も一緒に楽しめるプログラムです～

- 13:00～ 杉並弦楽合奏団(指揮横山淳) チャイコフスキー「花のワルツ」ほか
- 13:30～ 野崎海芋(俳人)&高橋由紀子(ピアノ) 芥川龍之介「ピアノ」+芥川也寸志「24の前奏曲」
- 14:20～ 中島満音(ソプラノ)&アマービレピアノトリオ ヴェルディ、ダンクラ、レハール、プッチーニの曲
- 14:50～ 加藤丈陽(クラリネット)&菊地沙織(ピアノ) ガーシュイン、ドビュッシィ、バーンスタインの曲
- 15:20～ 松岡直子(ピアノ) リスト「ハンガリー狂詩曲第2番」ほか

※開演後の入退場は出演者交代時に静かにお願いします。

これからのスケジュール

10月

- 10日・17日・24日・31日 楽しい朗読教室
- 12日 「あそび市」に出展(会場：松葉中)
- 12日 野外講座「荻外狂通りを歩こう」(集合場所：藤沢ビル(通称アメックスビル)長屋門)
- 20日 「本天沼集会所まつり」(会場：本天沼区民集会所)

11月

- 6日 「国会見学会」(集合場所：衆議院第一別館議員面会所)
- 9日 荻窪音楽祭
- 9日 「地域ふれあいマチネコンサート」
- 9日 「天沼スマイルマーケット」に出展(会場：天沼中)
- 15日・29日・12月6日 「背骨を整えよう！腰痛スッキリ体操」
- 23日 「こみゆに亭」作って、食べて、遊ぼう
- 24日 「秋を楽しむ木の木工教室」
- 26日 広報紙「わたしのおぎくぼ」12月・1月号発行

12月

- 1日 「富士山は生きている」
- 8日 「荻窪寄席」
- 15日 「防災フォーラム」
- 1月19日 「もっと知りたい中東」
- 1月28日 広報紙「わたしのおぎくぼ」2月・3月号発行
- 2月1日 「地域懇談会」
- 2月1日・8日・15日・29日 「初心者のための俳句教室」
- 2月22日・23日 「アート展」

令和2年1月・2月

- 1月19日 「もっと知りたい中東」
- 1月28日 広報紙「わたしのおぎくぼ」2月・3月号発行
- 2月1日 「地域懇談会」
- 2月1日・8日・15日・29日 「初心者のための俳句教室」
- 2月22日・23日 「アート展」

※イベント講座等は変更になることもあります。
※会場が明記されていないものは全て、会場は荻窪地域区民センターです。
※問い合わせ先：●事業企画部 ●地域交流部

●CCC部 ●広報部 ●総務部

この街にこの人あり

杉並に残る文化遺産を発見し、掘り起し、形にし、未来に伝える (一社)すぎなみ文化協会“まちづくり部会”の活動

杉並には、多くの文化団体があるが、官民協働のまちづくり団体として現在活発に活動している「一般社団法人すぎなみ文化協会“まちづくり部会”」がある。今回、創設時から関わり現在会長をなさっている土屋隆一さんにお話を伺った。



土屋 隆一さん

■これまでの経緯

2009年「すぎなみ文化研究会」としてスタート、「NPO 法人すぎなみ学びの楽園」に入り、「すぎなみ文化事業部」として「すぎなみ詩歌館かるた」を制作（2012年、杉並区受託事業）、2013年には「すぎぶん講座」を開講（逐次分野が増加、文学、歴史、まちづくり、美術、郷土、イベントの6講座となる）、2014年には、区民参加型郷土博物館分館展示にて「荻窪の昭和」を企画（延べ4,000名以上入場）、活動の基盤が作られた。2012年からは杉並に残る文化遺産を発見、掘り起し、形にし、未来に伝えることをテーマに、今日に繋がる「まちづくり部会」（初代会長小澤恵一氏、元横浜市都市計画局長）の活動を始めている。この間、組織形態としては2016年独立して一般社団法人すぎなみ文化協会（現在正会員22名）となり、協会全体としては「まちづくり部会」をはじめ、12の部会を擁するものとなっている。



「荻窪8の字ルート」マップ

■「まちづくり部会」の活動内容

現在の活動の中心は、(1) すぎなみガイドの会と(2) 荻窪まちづくりの会の活動。前者は、①「杉並まち歩きガイド養成講座」（2018年度：10回開講、参加者38名、2019年度：「杉並ガイド養成講座II」として杉並の自然・地形、文学、歴史、建築へと深掘した内容で上半期5回開講中）、②これを基礎とした「すぎぶん検定」とガイド登録事業および③ガイド実践事業からなる。後者では、①荻窪駅周辺での案内板設置推進（杉並区が助成）、②

荻窪駅西口周辺のデッキ化推進、③行政との意見交換会、④友好都市との地域間交流、加えて⑤荻窪南文化トライアングルを提唱して、「(仮称) 荻外荘公園まつり」(2019年3月末に「第4回三庭園めぐりと春の催し」開催、主催：すぎなみ文化協会、共催：杉並区みどり公園課)などを行っている。



杉並まち歩きガイド養成講座



荻窪歴史文化散策案内図

■今後に向けて

まちづくり部会の活動は発足以来、官民の対等なパートナーシップに基づく協働事業として行ってきた。これからは都市・地方間の交流・連携が重要であり、民間ベースでの交流事業を行っていききたいと考えている（南相馬、小諸、南伊豆など）。すぎなみガイド案内のたまり場として「すぎなみビジターセンター」を文化協会内に設け、杉並グッズの販売も行いながら、地元の市民にまちの魅力を伝え、また来訪者にとって巡りたくくなるような便利なサイン・案内板の充実を図っていききたい。これまで同様、地域区民センター協議会の活動、同メンバーとの交流は不可欠で一緒に連携していききたいとのメッセージを頂いた。

連絡先 一般社団法人すぎなみ文化協会まちづくり部会
167-0051 東京都杉並区荻窪3-47-15-505
ホームページ：<https://www.suginamivc.com>
Eメールアドレス：tsuchiya@galaxy.ocn.ne.jp

講座報告

「はやぶさ2の挑戦～リュウグウからの玉手箱～」を開催しました

小惑星「リュウグウ」への探査機「はやぶさ2」は、所期ミッションで大変順調に進めていますが、第2回目のタッチダウン直後の7月28日、JAXA研究総括としてプロジェクト推進に携わってきた澤岡昭先生（大同大学名誉学長）をお招きして、今回の成功の意義を詳しく解説していただきました。参加者は50名、そのなかには10名の小学生も含まれ、そのおひとりからは副題にあるリュウグウという名前の由来は？ という関係者が聞けば感動するような質問が出され、大変盛り上がりしました。



澤岡 昭 先生



はやぶさ2の全行程



会場からの質問を受けて



玉手箱をいただくお伽話

「荻窪の記憶」

こぼればなし

大田黒元雄氏の優雅なロンドン生活

「数へてみると、私はまだ五度しか大西洋を渡つたことがない。一度は春、二度は夏、あと二度は冬である」（『大西洋』）。昭和七年に、こう随筆に書いたのは、かつての大田黒公園の主で、音楽評論家だった大田黒元雄氏である。氏は、第一次大戦前に留学のため2年間ロンドンに滞在しているが、この文章から、大戦後も、度々、ヨーロッパへ渡っていたことがわかる。各地を旅したようだが、長期間、滞在したのはロンドンで、ホテルに逗留することもあれば、間借りをしていたこともあるようだ。『ロンドン生活』という随筆によれば、その毎日は優雅なものであった。

八時半起床。窓からケンジントン公園が見える浴室で入浴。女中が運んできた朝食をとる。家主の細君と、ひとしきりコンサートや芝居の品定め。細君はブリッジや競馬にも目がない。

「一人になつたが、さてすることがない。昨夜読みかけたウォレスでも読もうか。いや、ピアノでも弾かう」。ウォレスは『キングコング』の脚本でも知られる探偵小説作家だ。

近所のイタリア料理屋で昼食を済ますと、「今日は洋服屋に約束があつた。バスで行かう。(略)公園の中を滑るやうに行く無数の自動車。ロオルス・ロイス、デエムラア(ダィムラー)、サンビウム。あの鼠色のロオルスのランドレッ



1920年代のロンドンリーゼントストリート

ドはスマートだな。あんな車に乗つてみたい」。自動車も、ファッションや探偵小説などと並んで氏が情熱を傾けたものの一つである。

洋服屋で仮縫いを済ますと、コンサートのチケットを購入し、ウィンドー・ショッピング、宝石屋の窓に一七カラットのダイヤ。ピカデリへ出て、午後のお茶はダアジリン。馴染みのレストランで、スープに冷たい海老とサラダを食べ、ご帰館。女中が来週分の部屋代をと頼みにくる。奥さんの賭け事の軍資金らしいが、快く払ってやる。風呂に入って、十時半就寝。

「荻窪の記憶」プロジェクト 松井和男

講座紹介

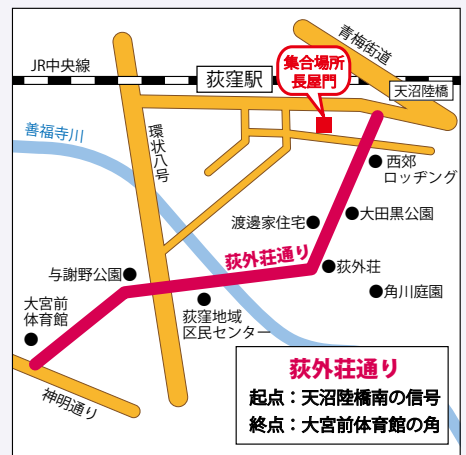
ときがいそ 野外講座 荻外荘通りを歩こう

西郊ロッジングから与謝野公園に至る通りは、荻窪地域区民センター協議会が愛称を募集し、「荻外荘通り」と決まりました。大田黒公園、角川庭園、荻外荘などを訪ね歩きながら、荻窪100年の歴史探訪を楽しみましょう。

案内役は「荻窪の記憶」プロジェクト前責任者、松井和男さんです。

- ★日時:10月12日(土)午前10時～正午 ★定員:20名
- ★予定ルート:「荻外荘通り」に沿って、西郊ロッジング、大田黒公園、角川庭園、荻外荘、与謝野公園などを散策
- ★集合場所:藤沢ビル(通称アメックスビル)長屋門

(参加を希望される方はP4の講座・イベント等のご案内をご覧ください)



開催案内

荻窪寄席

聴覚障害のある方にも楽しんでいただける字幕付きの落語と太神楽曲芸で、毎年好評をいただいている当センター協議会恒例の催しです。落語と太神楽曲芸で年末を乗り切りましょう。

- ★演目:金原亭馬玉(落語)「転宅」「明烏」
翁屋和助(太神楽曲芸)
 - ★日時:12月8日(日)午後2時～4時 ★定員:70名
 - ★場所:荻窪地域区民センター 第1・2集会室
- (参加を希望される方はP4の講座・イベント等のご案内をご覧ください)



金原亭馬玉



翁屋和助

※写真は出演者のHPからの転載です。

講座・イベント等のご案内

講座名	内容・講師	開催日・時間	定員	参加費	申込締切
野外講座 荻外荘通りを歩こう	当協議会が愛称を募集し名付けた「荻外荘通り」を歩き、大田黒公園、角川庭園、荻外荘など、荻窪100年の歴史探訪を楽しみましょう。(詳細はP3講座紹介を参照)	10月12日(土) 午前10時～正午	20名	無料	9月29日(日)
国会見学会	一般の国会見学では体験できない場所を案内。政治専門記者の解説を聞きながら「国権の最高機関」である国会の理解を深める。 案内 堀越富士夫(衆議院議員秘書) 解説 川上高志(共同通信論説副委員長)	11月6日(水) 午前11時～午後2時 集合場所:衆院第1別館 議員面会所	25名	無料 但し議員食堂 昼食代は各自 払い	10月27日(日)
背骨を整えよう 腰痛スッキリ体操	腰や肩の痛みでお悩みの方。ご自身で簡単・安全に痛みを取り除く背骨コンディショニング体操楽しく身につけましょう。 高橋晃史(背骨コンディショニング協会講師)	11月15日・29日・12月6日 各金曜日 午前9時30分～11時30分	30名	200円	11月3日(日)
秋を楽しむ 木の実工作教室	自然観察の会・杉並との協働事業です。秋の木の実、木の枝、葉などを使って、リース・ブローチ・ドア飾りなどいろいろなものを作ります。 山室京子(東京都緑のボランティア指導員)	11月24日(日) 午後1時～3時	20名	200円	11月10日(日)
富士山は生きている 歴史に見る大噴火と今後	万葉時代より記録が残る富士山の噴火、1707年の宝永噴火では江戸にも大量の火山灰が積りました。将来の災害予測についても説明します。 伊藤和明(元NHK解説委員・防災情報機構会長)	12月1日(日) 午後1時30分～3時	50名	200円	11月17日(日)
荻窪寄席	落語と太神楽曲芸で年末を乗り切りましょう。 (詳細はP3開催案内を参照) 金原亭馬玉(落語)・翁家和助(太神楽曲芸)	12月8日(日) 午後2時～4時	70名	200円	11月24日(日)

【講座の申込方法】 ◆往復はがきに(一人一枚) ①希望講座名 ②住所 ③氏名(フリガナ) ④年齢 ⑤電話番号を明記のうえ
〒167-0051 荻窪2-34-20 荻窪地域区民センター協議会宛 (申し込み多数の場合は抽選です。)

郷土博物館分館 区民参加型展示

問い合わせ: ☎5347-9801

西棟1階・2階展示室

「野鳥」

～杉並が生んだ図鑑画家の眼

杉並で見つめつづける写真家の眼～

図鑑画家・谷口高司の作品と、写真家・西村眞一の写真をとおして杉並の野鳥を紹介します。鳥の絵が描けるワークショップや鳥の秘密を教えてくれる講座などのイベントも実施します。

【開催期間】 西棟2階: 「杉並が生んだ図鑑画家の眼」
令和元年10月12日(土)～12月15日(日)
西棟1階: 「杉並で見つめつづける写真家の眼」
令和元年10月12日(土)～12月22日(日)

【関連イベント】

「“タマゴ式”鳥絵塾 山野の鳥 水辺の鳥」

【講師】 谷口高司(FIELDART社)

【日時】 ①11月10日(日) ②12月1日(日)

子どもの部(小学3年生～中学生) 午前11時～正午

大人の部(高校生以上) 午後1時～2時

【会場】 郷土博物館分館 西棟1階

※いずれも事前申込み制(抽選) 参加費: 1,000円

ワークショップ「意外と知らない?! 鳥の秘密」

【講師】 岡安栄作(日本鳥類保護連盟)

【日時】 10月26日(土) 午後2時～3時30分

【内容】 野鳥の不思議な生態に関する話や簡単な工作を行います。

【会場】 郷土博物館分館 西棟1階

※事前申込み制(抽選) 参加費: 無料

「ギャラリー・トーク」

【講師】 西村眞一(写真家)

【日時】 10月20日(日) 午後2時～4時

【内容】 杉並に棲む野鳥の生態や特徴、中西悟堂の活動などについて。

【会場】 郷土博物館分館 西棟展示室

【共通】
●場 所: 杉並区立郷土博物館分館(杉並区天沼3-23-1 天沼弁天池公園内)
●開館時間: 午前9時～午後5時
●休 館 日: 毎週月曜日と第3木曜日(祝日の場合は開館し翌日休館)
●観 覧 料: 無料

お知らせ

地域のイベントに参加します!

荻窪地域区民センター協議会では、自らが開催する様々なイベント・講座などに並行し、地域の団体が主催するイベント等を支援し、参加しています。

この秋、当協議会は「あそび市(松溪中)」と「天沼スマイルマーケット(天沼中)」の2つのイベントに参加します。これらのイベントは中学生の自主性を引き出す取り組みとして、生徒会・中学生ボランティアを中心に地域の様々な協力のもと実施される活動です。当協議会は中学生が運営するブースで缶バッジの製作指導を行います。

あそび市

★日 時 10月12日(土) 午後1時～3時40分

★会 場 松溪中学校アリーナほか

杉並区荻窪2-3-1

★主 催 西田小学校地域子育てネットワーク事業

松溪中学校校区子ども地域活動促進事業 合同事業

・中学生や児童が中心となり、「お店やさん」を開き、お買い物やゲームを楽しみます

天沼スマイルマーケット

★日 時 11月9日(土) 午後1時～3時30分

★会 場 天沼中学校 グランド・アリーナなど

杉並区本天沼3-10-20

★主 催 天沼中学校区地域教育推進協議会

・ゲームコーナー・フェイスペインティング・中学生や地域のみなさんの屋台

*「地域からのお知らせ」のコーナーに掲載したい地域情報がありましたら、センター協議会へFAXでご連絡ください。
FAX番号: 3398-9128

荻窪地域区民センター協議会からのお知らせ

委員会の日程

10月29日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室

11月26日(火) 午後1時～ 会場: 第1・2集会室

※委員会は一般公開です。傍聴を希望される方は事務局までお申し込みください。